

奈良の将来ビジョン

ー県民からの 129 の提案ー

人々の能力と資源を活かした自律発展を成し遂げ
各地域のモデルとなる奈良県を創る

ものを中心とした社会から人・心を中心とした社会への大転換、中央集権から地域主権、広域連携や道州制の検討の進行……。日本の形が変ってきました。

今までのような国主導の画一的な方法では、活力あるまちやむらを創りあげることができなくなりました。固有の自然、伝統と文化に根ざした、住民の主体性のある発意と実行が、その地域の活力と持続可能な発展を生み出すこととなります。

どのような奈良にすべきであるのか、どのような奈良での生活がこちよさと誇りをもてるのかを、政治・行政に任せ切りにせず、県民・産業界・学界等が一緒になって議論し、将来ビジョンをつくるためのフォーラムを、2010年2月にスタートさせました。

奈良の将来ビジョンをつくるフォーラム実行委員会は、多くの会合や政策提案から得られた貴重な情報を大切にしつつ、奈良の将来ビジョンをとりまとめました。12の目標に沿って43の方針を立て、その具体化に向けて129項目にわたる提案を行っています。さらに、その中から選んだ13の重点プロジェクトを示しています。

ただし、この提案だけで、奈良の将来のすべてを語りつくせたわけではありません。まだまだ議論しなければならない事項が多く残されていますが、この提案をベースに、さらなる議論が沸きあがり、より多くの人たちの参画による、奈良の将来に向けての活動が活発になることを期待しています。



いま奈良は、将来発展方向を見いだせないままに推移しています。いま奈良に求められることは、人々が資質を開花させる機会を創出し、その潜在力の発現を促進するとともに、連綿と引き継ぎ育ててきた自然資源、歴史文化資源、生活文化資源、伝統技術などの地域資源を活かし、地域の主体性と地域資本によって、また、地域の多様な関係者の「共働」と他地域との連携によって、現世代の満足を充たしつつ生きとし生けるものすべての将来世代へ引継ぎ得る地域を創ることです。

私たちには、「人々の能力と資源を活かした自律発展を成し遂げ、各地域のモデルとなる奈良県」を創り上げることが求められています。そうすることは、現在、各地域が抱える問題・課題の多くを解決することにもつながります。

将来発展方向

人々の能力と資源を活かした自律発展を成し遂げ、各地域のモデルとなる奈良県

戦略視点

- ①人的資源・培われてきた特長を活かす
- ②チャンス拡大する・新規参入を促進する
- ③持続可能性を追求する

施策の目標

1. 県民が能力を発揮できる機会が多い
2. ものごとの本質がわかる、逞しい子どもを育てる
3. 資源を活かし、国内・世界各地域に貢献する高次人材を育成する
4. NPO・ボランティア・地域団体と行政が共働し、活力をもって暮らせる
5. ライフサイクルを通じて安心できる・満足できる医療・福祉サービスを提供する
6. 利便性が高く、各地域の個性・特性を発揮できる地域・広域生活圏をもつ
7. 他地域との交流により新たな価値を生み出し、提供する
8. 地域産業開発、特長的な技術・価値を提供する産業の振興により、雇用を拡大する
9. 新時代に合った持続可能な農林業に再構築する
10. 自然資源を活かした循環型経済社会を実現する
11. 複合領域にわたる課題に積極的に対応し、総合的振興を図る
12. 行政スタッフが能力を発揮し、迅速・適切な政策を実行する

①県民が能力を発揮できる機会が多い奈良県を創る



各世代が社会との関わりをもって生きいきと活動する状況を創出する。地域住民が潜在的な人的資質を開花させるとともに、主体的に地域の魅力を発見し、地域発展に結びつける活動を支援する。

②ものごとの本質がわかる、逞しい子どもを育てる奈良県を創る

子どもたちの学ぶ能力を引きだす。教員の資質を向上させる。地域に開かれた、地域に愛される交流拠点としての学校を創りだす。



③資源を活かし、国内・世界各地域に貢献する高次人材を育成する奈良県を創る

奈良がもつ文化財保存・修復技術の継承・発展を担うとともに、国内・世界各地域に貢献する人材を育成するため、高次教育機関を整備する。奈良に蓄積されてきたデザインの活用を図るとともに、奈良の産業デザイン力を向上させるために、デザイナーの育成と活躍環境づくりを行う。奈良県下各地域の潜在力を開花させるために、専門的知識をもって地域づくりを支援する地域プランナー・コーディネータを育成する。

④NPO・ボランティア・地域団体と行政が共働し、活力をもって暮らせる奈良県を創る

地域社会を再生する。県民による新施策提案と行政評価の仕組みをつくる。中山間地域の持続可能性を高める。

⑤ライフサイクルを通じて安心できる・満足できる医療・福祉サービスを提供する奈良県を創る

ライフサイクルと医療・福祉サービスの体系化を図る。県民のコンセンサスを得て、新しい医療体制の整備を行う。中核医療機関を中心としたまちづくりを行う。職場・地域・自然が連携した健康開発システムづくりを行う。



⑥利便性が高く、各地域の個性・特性を発揮できる地域・広域生活圏をもつ奈良県を創る

高次都市機能の集積拠点づくりを進め、各地域の特長を活かす多核ネットワーク型県土構造を構築する。各地域の個性・特性を活かすブランディング作戦を展開する。利便性が高い総合交通体系を効率的に構築する。

⑦他地域との交流により新たな価値を生み出し、提供する奈良県を創る



地域主権・道州制時代の奈良のポジションづくりを行う。20年先の時代への対応のため、観光・交流を再構築する。各地域・地区が連携し、総合的な機能をもつ体制づくりを進める。もてなしの心を醸成するとともに、もてなしの質の向上を図る。地域情報の発信力の強化を図る。

⑧地域産業開発、特長的な技術・価値を提供する産業の振興により、雇用を拡大する奈良県を創る

奈良の総力を結集して、産業ビジョンをつくり実行する。新商品・サービスの開発による地域産業づくりを進める。こころよく、質の高い生活を支援する産業を開発する。歴史文化遺産を存続させる産業、歴史文化遺産を活かす産業を確立する。既存企業の発展支援を強化する。住み続けられるまちづくりを行う。また、労働環境を整備する。

⑨新時代に合った持続可能な農林業に再構築する奈良県を創る

持続可能な農林業の将来像を提示する。農業の自立を促進するとともに、市場・都市生活者との連携を拡大する。森林・林業・木材業の持続可能性を高める。

⑩自然資源を活かした循環型経済社会を実現する奈良県を創る

県民が生きいきと生きる持続可能な環境共生の地を創る。NPO等による自然環境の調査・保全・回復活動を支援する。

⑪複合領域にわたる課題に積極的に対応し、総合的振興を図る奈良県を創る

域内消費拡大のための総合的対策を実行する。安全な都市・地域を創る。自律環境都市・地域を創る。奈良の資源を評価・再編集し発展可能性を高める。

⑫行政スタッフが能力を発揮し、迅速・適切な政策を実行する奈良県を創る

新たなモデルとなる行政システムを創り上げる。人材を育成し、能力を発揮させる。

第1章 奈良県の将来発展方向と将来に向けての施策の目標

1. 奈良県の将来発展方向
2. 奈良県の将来に向けての施策の目標

第2章 奈良県の将来に向けての施策の提案

1. 県民が能力を発揮できる機会が多い奈良県を創る
2. ものごとの本質がわかる、逞しい子どもを育てる奈良県を創る
3. 資源を活かし、国内・世界各地域に貢献する高次人材を育成する奈良県を創る
4. NPO・ボランティア・地域団体と行政が共働り、活力をもって暮らせる奈良県を創る
5. ライフサイクルを通じて安心できる・満足できる医療・福祉サービスを提供する奈良県を創る
6. 利便性が高く、各地域の個性・特性を発揮できる地域・広域生活圏をもつ奈良県を創る
7. 他地域との交流により新たな価値を生み出し、提供する奈良県を創る
8. 地域産業開発、特長的な技術・価値を提供する産業の振興により、雇用を拡大する奈良県を創る
9. 新時代に合った持続可能な農林業に再構築する奈良県を創る
10. 自然資源を活かした循環型経済社会を実現する奈良県を創る
11. 複合領域にわたる課題に積極的に対応し、総合的振興を図る奈良県を創る
12. 行政スタッフが能力を発揮し、迅速・適切な政策を実行する奈良県を創る

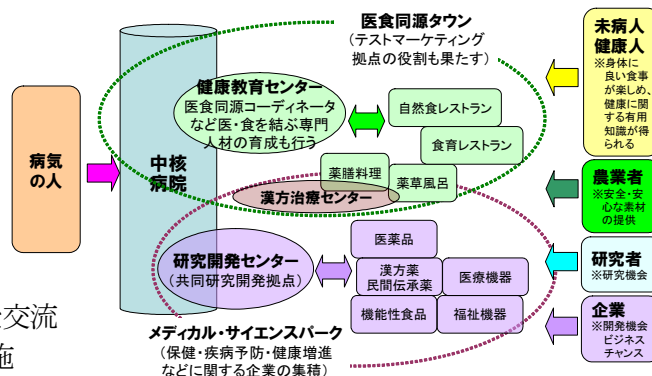
第3章 重点プロジェクトの提案

- ① 盛年(元気なりタイアド層)の社会再参画の促進
- ② 地域委員会の設置
- ③ 県民・産学官による政策検討委員会の設置
- ④ 工芸大学院大学の開設
- ⑤ ネットワーク型シンクタンクづくり
- ⑥ 中核医療機関を中心としたまちづくり
- ⑦ 地域資源を活かす新観光・交流産業の開発・振興
- ⑧ 観光・交流支援機構—外国人旅行客の奈良来訪の促進と交流
- ⑨ 奈良の産学官の総力を結集した産業ビジョンの策定と実施
- ⑩ 地域資源を活かした新商品づくり支援機構の設立
- ⑪ 水田農業の再活性化に向けての経営組織設立の促進
- ⑫ 地域単位での山林の維持・更新・経営の支援
- ⑬ エネルギーの地産地消に向けた県民発電所の開発・設置

参考資料-1. 奈良の将来ビジョン提案の体系

参考資料-2. 諸指標から見る奈良県の現状

参考資料-3. 奈良の将来ビジョンをつくるフォーラムの概要



提案例) 中核医療機関を中心としたまちづくり

お問合せ先: 奈良の将来ビジョンをつくるフォーラム実行委員会 <http://vision-nara.org/>
 奈良市内侍原町 50 番 第一ビル 2 階 203 号室 IBC フォーラム内
 E-mail: vision@nit-ass.jp TEL: 0742-24-2251 FAX: 0742-24-2261

FAX (0742) 24-2261 E-mail: vision@nit-ass.jp 奈良の将来ビジョンをつくるフォーラム実行委員会 行

『奈良の将来ビジョン』を下記のとおり購入します。

住 所	〒	価格・冊数	@1,000× () 冊
機関・部門名		購入方法	送付を希望 (別途、送料を負担)
		支払方法	郵便振替にて支払う
氏 名	印	E-mail	E-mail
		or FAX	FAX